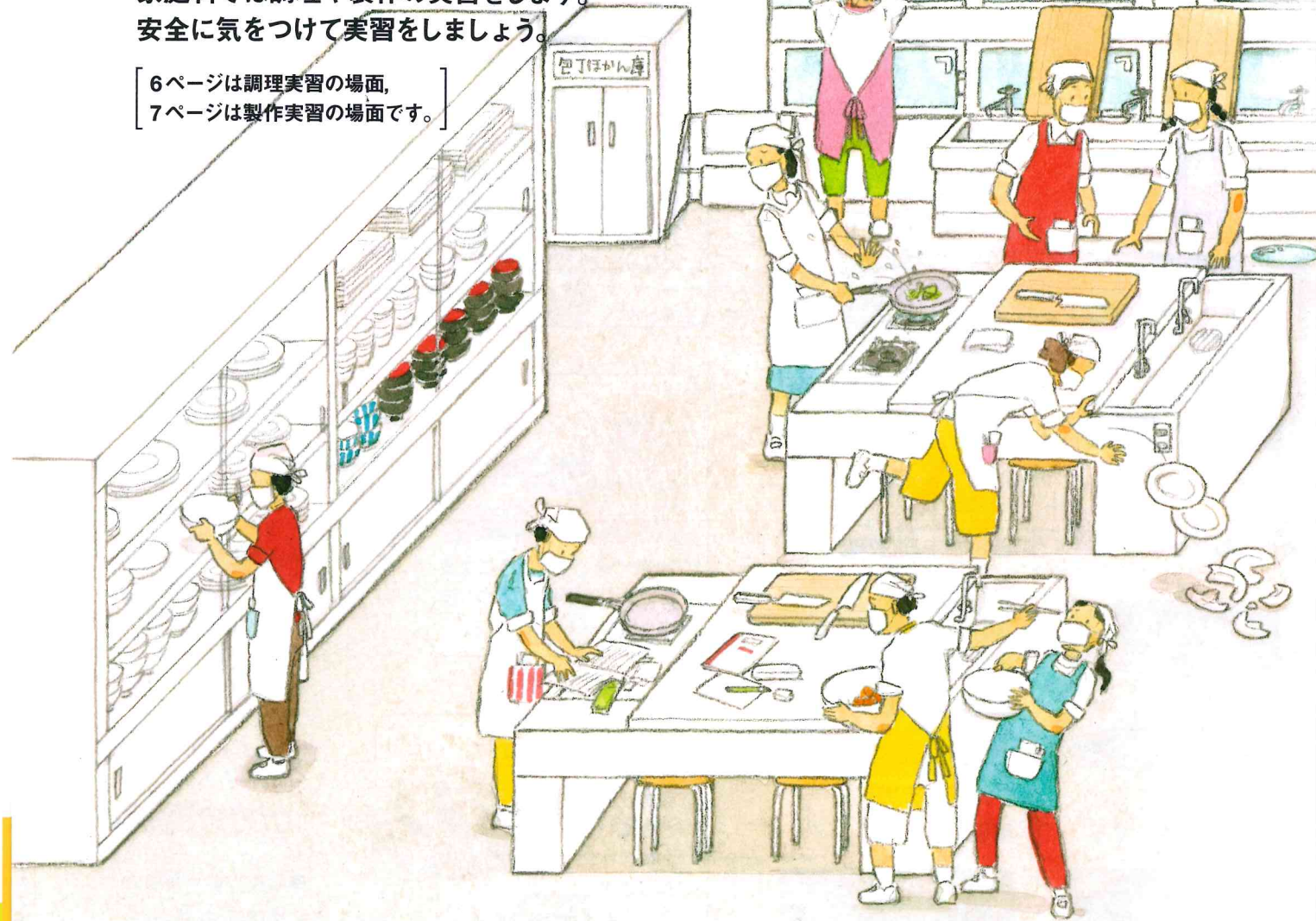


安全に実習をしよう

家庭科では調理や製作の実習をします。
安全に気をつけて実習をしましょう。

6ページは調理実習の場面、
7ページは製作実習の場面です。



絵の中には
危ない場面があるよ。
どこが危険か、
探してみよう。

家庭科の実習では以下のことに
気をつけよう。

- 調理
 - 窓を開けて換気をする。
 - 包丁は、バットに入れたりまな板の上に置いたりして受けわたす。手わたしをしない。
 - 火を使っているときはよそ見をしない。
 - ゆかがぬれたら、すぐにふく。
 - 包丁を、まな板からはみ出して置かない。
 - こんろの回りに燃えやすいものを置かない。
 - 作業中はよそ見をしない。
 - 家庭科室の中では走らない。
 - 使った用具は所定の位置(もとの場所)にしまう。
- 製作
 - はさみの刃は人に向けない。
 - アイロンは、安全なところに立て置き、手でさわったりしない。
 - ミシンは両手で持って運ぶ。
 - 作業している人に話しかけない。
 - 作業しやすいスペースを確保するように、使わない物をかたづける。

身じたくQR チェックしよう



- エプロン
- 三角きん
- かみの毛
(落ちないようにする)
- つめ(切っている)
- そで口
- マスク

防災 実習中に地震や災害が起きたときには、
ここにあることや先生の指示を守って
行動しましょう。

- 地震や災害が起きたときには
- ◎まず安全を確保し、落下物などから身を守る。
 - 包丁やはさみ、針などの取りあつかい注意の物は、自分や周囲の人に危害がおよばないようにする。
 - まず安全を確保し、落ち着いたらこんろの火を確認する。
 - アイロンを使用しているときは、電源を切り、コードを抜く。
 - 家庭科室では、机の下にもぐることが危険なこともある(湯や包丁、アイロン、はさみなどが机の上にあるとき)。

普段から災害時の行動について
考えておきましょう。

➡ 37ページ「チャレンジコーナー」

- こころがけておこう
- 家庭科室や机の上は、いつも整理・整頓をしておこう。
 - どのようなことが起こるか、常に予想しておこう。
 - なぜそうするかをいつも考えておこう。
 - いつもとちがうことが起きたとき、どうすればよいかを考えておこう。
 - 自分から進んで行くことや、友だちと協力することについて考えておこう。

このほかにも
気をつけることは
ないかな。

●家庭でも話し合っておきましょう。



災害マップを見ながら、集まる場所を決めておく。